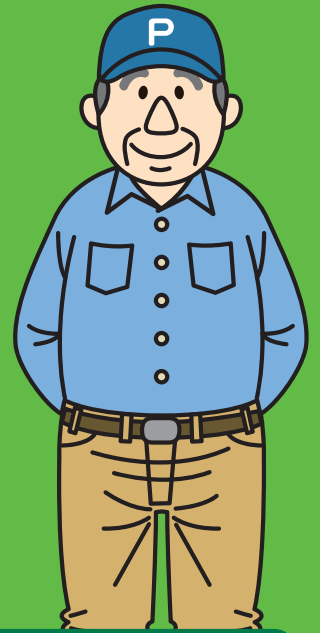


セルトレイ灌注処理

プレバソン®フロアブル5のセルトレイ/ペーパーポット灌注は、定植前の手軽な作業で薬剤処理ができ、本圃で約4週間の殺虫効果が期待できる効率の良い新技術です。セルトレイ灌注の仕組みを理解し、正しく上手に使うことでプレバソン®フロアブル5の効果、残効性を最大限に実感していただけます。はじめて灌注処理をする方でも安心して使えるように、基本的な処理方法を紹介します。

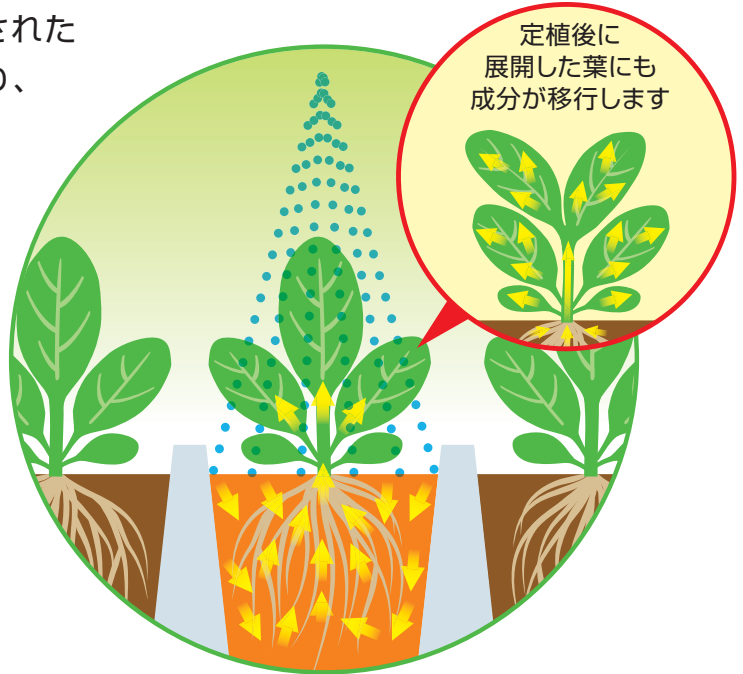



灌注処理のポイント

- ① 根から吸収させる
- ② 展着剤は入れない
- ③ 定植3日前～前日に処理

灌注処理の仕組み

灌注処理とは、セルトレイの培土に処理された薬液が作物の根から吸収されることにより、有効成分が作物全体に行き渡り効果を発揮する処理方法です。茎葉散布とは違い、薬液が土にしっかり吸収され根まで行き渡ることが大切です。また、葉に薬液が付着する必要はないので、展着剤は必要ありません。



 **根まで行き渡るようにムラなく灌注**
セルトレイの端までムラなく薬液が行き渡るように処理してください。


 **展着剤は入れずに灌注処理**

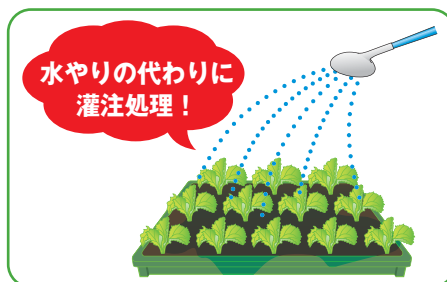
薬液：100倍 水量：1セルトレイあたり500ml

灌注処理のタイミング

【例】育苗期間が20日間の場合

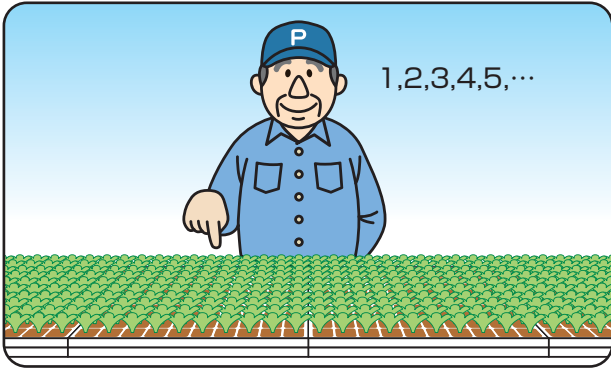


 **健全な苗を作しましょう**
根部の生育が不良な苗、害虫の被害を受けた苗では効果が十分に安定しない場合があります。

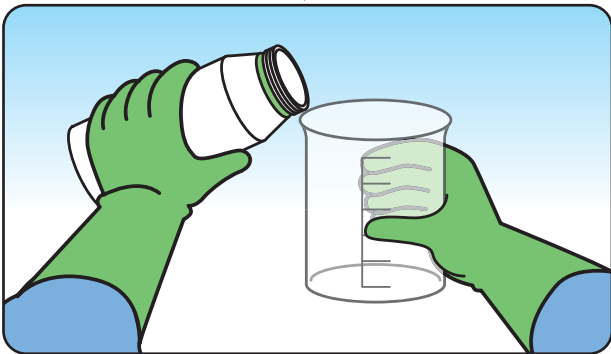


- 本圃で長く効果を発揮させるためには、**定植3日前～前日**の処理をお勧めします。
- 定植前日処理の場合は、苗の活動が活発な午前中の処理をお勧めします。

灌注処理の手順



セルトレイの枚数を確認!



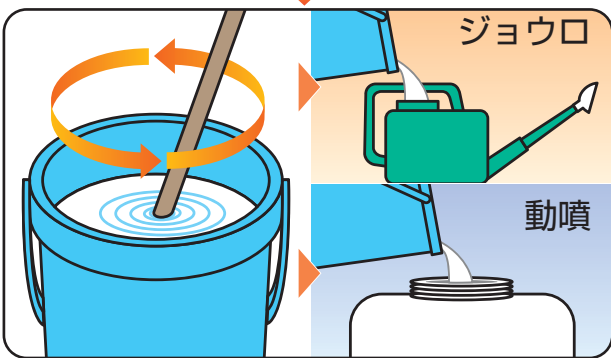
セルトレイの枚数に合わせて薬液調製

セルトレイ枚数	100枚	50枚	20枚	10枚	1枚
プレバゾン®フロアブル5	500ml	250ml	100ml	50ml	5ml
散布水量	50ℓ	25ℓ	10ℓ	5ℓ	0.5ℓ

薬液は、その日使う分だけ作り使い切りましょう。



展着剤は入れない



薬液をジョウロまたは動噴に移す

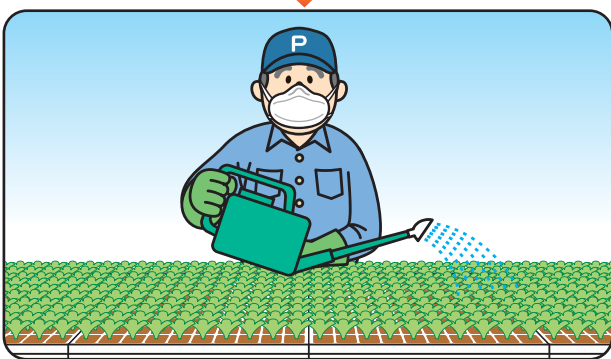
※動噴の場合はハスロ^{くち}ノズルを使用する



ジョウロ



ハスロノズル

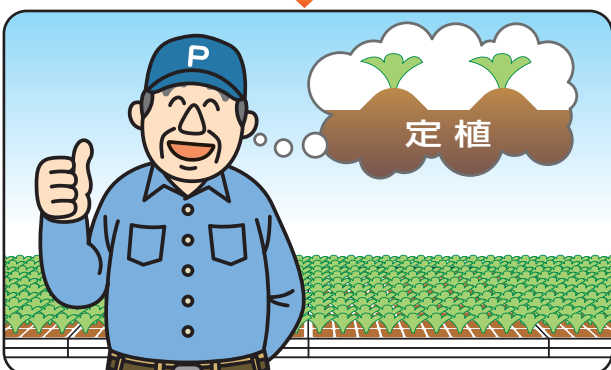


セルトレイを隙間なく並べ、

薬液をまききるよう均一に灌注する



薬液をセルトレイ培土全体にしっかり行き渡らせてください



あとは、定植まで通常の苗管理!



灌注処理直後の灌水はさけてください



本圃への定植後は、気象条件や害虫の発生に合わせて適切なタイミングで殺虫剤散布をしましょう

茎葉散布

プレバソン®フロアブル5の散布処理は、約2週間の優れた残効性と浸透性で生育期の害虫防除に効果を発揮します。

灌注処理と同じ1本で散布処理もできるので、作物栽培の初期～収穫の間、作物の生育ステージに適した処理方法を選ぶことができます。

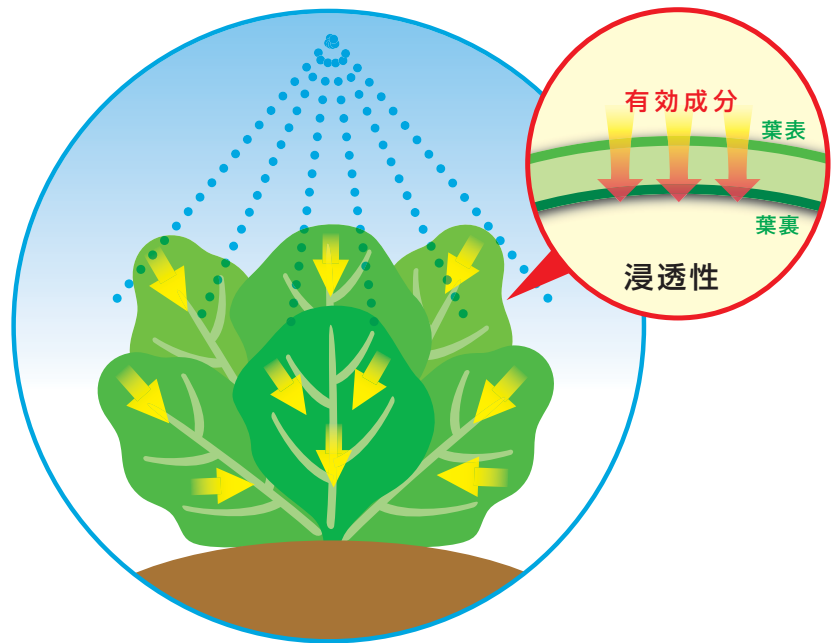


茎葉散布のポイント

- ① 展着剤を入れる
- ② ローテーション散布を守る

茎葉散布の特長

プレバソン®フロアブル5の散布処理は、「浸透性」に優れているので、薬液のかかりにくい葉裏から食害する害虫や、ハモグリバエのような潜葉性害虫を効果的に防除します。



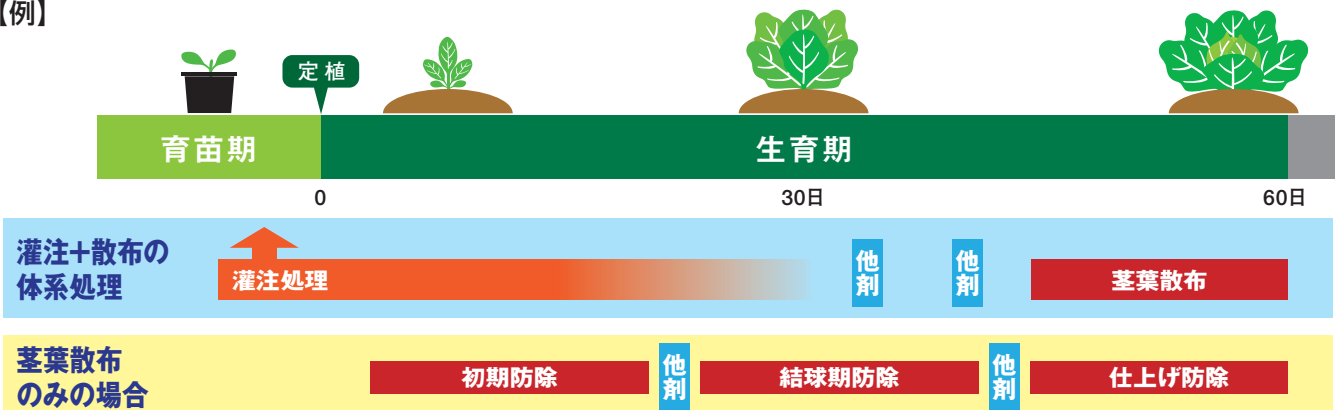
展着剤を入れましょう

散布処理の際は十分に薬液を作物に付着させる為に展着剤を加用してください。

希釈倍数：1000～2000倍
使用液量：100～300ℓ/10a

茎葉散布の処理時期

【例】



抵抗性回避のため、系統の違う殺虫剤とのローテーション防除を徹底してください。